

⑤災害時の緊急輸送路・避難場所の確保

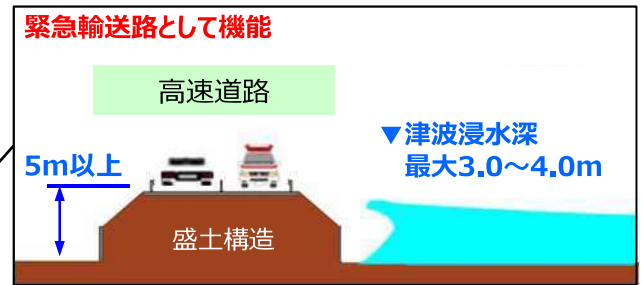
- 緊急時の救助活動を行うための拠点港として指定されている重要港湾（徳島小松島港）へ津波の影響を受けない高速道路ネットワークが確保されました。
- また、新たに津波一時避難場所を3箇所整備し、市の緊急避難場所として指定され、地域住民の災害に対する安心感が向上しています。

▼津波の影響を受けない高速道路ネットワークの確保

〈徳島県東部の津波浸水想定範囲〉



〈高速道路と津波浸水イメージ〉



徳島県 とくしまゼロ作戦課

- ・盛土構造のため、津波に対する防波堤となり被害範囲が減少するものと考えています。
- ・災害に強い高速道路ができることで、より確実な「広域的な救命・救援活動」「救援物資の供給」が期待できます。



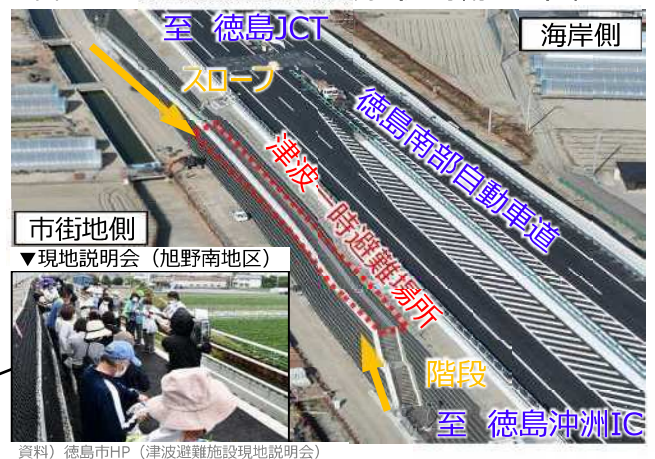
資料) R4.7 ヒアリング調査結果

▼地域住民の災害に対する安心感の向上

〈高速道路沿線部における津波避難困難地域及び津波一時避難場所整備箇所〉



〈津波一時避難場所整備状況 (旭野南地区)〉



徳島市 危機管理課

- ・地域住民から「避難場所が整備され今は安心している」という声をいただきました。
- ・地域の自主防災組織と連携した津波避難訓練を実施し、南海トラフ地震に備えた活動を継続しながら、地域防災力の向上を図っていきたく考えています。



資料) R4.7 ヒアリング調査結果